

科目名	金属で学ぶ日本文化史
開設学校名	岐阜大学
講師	教育学部 准教授 中田 隼矢 (なかた としや)
初回予定日	10月4日(月)
授業時間	毎週月曜日 5時限目(16:30 - 18:00) (全15回)
主会場	岐阜大学柳戸キャンパス 全学共通教育講義棟 103教室
聴講方法	e-ラーニング(オンデマンド型の動画配信)
科目内容	人類の歴史を「石器時代」、「青銅器時代」、「鉄器時代」に分ける三時代区分法が示すとおり、人類の歴史には「材料」とりわけ『金属』が深く関わっている。日本列島で金属の利用が始まったのは弥生時代頃とされており、当初は近隣の国より輸入された金属製品の利用にとどまっていた。やがて、金属を様々な形に変える加工技術や鉱物から金属を取り出す製錬技術や純度を向上させる精錬技術も伝来し、自国内で金属製品を作り出すことが可能になった。その後、先人達のたゆまぬ努力によってこれらの技術は発展を続けたが、金属や金属製作物は、その時代の情勢や文化とも深く関わってきた。本講義では、日本の歴史や文化と密接に関わってきた『金属』について、講師の専門である金属工学の要素を取り入れながら講義を行う。
注意事項	1月13日は木曜日ですが、月曜の講義を実施します。 新型コロナウイルス感染症の状況により日程や聴講方法に変更が生じる場合があります。

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第1回	10月4日	ガイダンス
第2回	10月11日	金属の特徴とその利用
第3回	10月18日	日本刀の特徴と成り立ち
第4回	10月25日	日本刀の製法
第5回	11月8日	古代の製鉄方法, たたら製鉄 1
第6回	11月15日	古代の製鉄方法, たたら製鉄 2
第7回	11月22日	古代の製鉄方法, たたら製鉄 3
第8回	11月29日	日本刀の歴史
第9回	12月6日	美術品としての日本刀
第10回	12月13日	日本の近代化と製鉄
第11回	12月20日	日本の鉱山
第12回	1月13日	刃物の特徴
第13回	1月17日	金属を用いた伝統的なものづくり
第14回	1月24日	科学技術を用いた文化財の保護や分析
第15回	1月31日	総括

※ 実際の計画作成や調査の進捗状況によって内容は適宜変更する場合があります。